

はじめての山小屋泊！ 百名山・中央アルプス最高峰・木曾駒ヶ岳

受講
レベル

- 登山経験なし、または過去に登山 1,2 回程度の方向け
 - 日頃より自宅近郊の山々へ日帰り登山以上を楽しんでいる方向け
 - 登山におけるご自身の体力、ご案内する登山装備の使い方にご理解がある方向け
- ※体力度：1 日 4～5 時間くらいは歩きましょう。標高差 500m 以上。
※装備(持ち物)については裏面記載の服装・道具を揃えてのご参加が必須です。

ロープウェイを利用して高度を稼ぎ、千畳敷から歩き始めます。最初にちょっと頑張り八丁坂を登り切れば、あとは緩やかな勾配の登山道。紅葉を眺めながら登っていくと、木曾駒ヶ岳山頂です。御嶽山や北アルプス、南アルプスから富士山まで 360 度の大パノラマをご堪能いただけます。2 日目は馬の背経由で濃ヶ池まで足を伸ばしてから下山します。女性だけなので、和やかな雰囲気でご参加頂けます。おひとり様や初心者の方も大歓迎です。

開催日：9 月 21 日(土)・22 日(日)

集合：21 日 13 時 00 分 駒ヶ岳ロープウェイ：しらび平駅

解散：22 日 12 時 00 分頃 駒ヶ岳ロープウェイ：しらび平駅

※しらび平駅へのアクセスなど駒ヶ岳ロープウェイHPは[こちら](#)をクリック！

募集人数：15 名様 (最少催行人員 8 名様)

受講料：おとな女子登山部員価格/26,500 円
(一般価格/29,500 円)



イメージ↑

- おとな女子登山部スタッフも同行！
- 天候・その他の現地事情によりコースが変更になる場合があります。
- 公益社団法人日本山岳ガイド協会認定ガイドが同行致します。
- 受講料に含まれるのも/ガイド同行費、保険料、小屋 1 泊 2 食分、行程記載ロープウェイ代

行程

1 日目：しらび平駅+<ロープウェイ・約 7 分半>+千畳敷 (2,610m)・・・宝剣山荘・・・中岳・・・駒ヶ岳頂上山荘・・・
木曾駒ヶ岳山頂 (2,956m)・・・頂上木曾小屋 (約 2,900m・泊)

2 日目：頂上木曾小屋・・・木曾駒ヶ岳山頂・・・濃ヶ池・・・乗越浄土・・・千畳敷+<ロープウェイ>+しらび平駅

() 内数字：標高， ……：徒歩， [歩行時間：1 日目約 2 時間、2 日目約 3 時間半]

- 国内旅行傷害保険について：「好日山荘登山学校」の実技講座では安心のためアトラストレックが契約者となり予めご旅行代金(受講料)に保険料を内包しており、下記補償内容を付保しておりますのでご確認ください。
- 死亡・後遺障害保険金額 300 万円 ●入院保険金日額 4,500 円 ●手術保険金 入院保険金日額の 10 倍(入院中の手術)または 5 倍(入院中以外の手術)の額をお支払いします。
 - 通院保険金日額 3,000 円 ●救急費用等保険金額 100 万円 ●賠償責任保険金額[※免責金額(自己負担額)：0 円] 1,000 万円
 - 携行品損害保険金額[※免責金額(自己負担額)：3,000 円] 5 万円 (保険料 1 泊 2 日まで 4 2 6 円・3 泊 4 日まで 5 0 6 円・6 泊 7 日まで 5 8 9 円)
- ※この保険は、株式会社アトラストレックを保険契約者として当社が主催する募集型企画旅行に参加の参加者全員を被保険者とする包括契約です。
原則として、契約者が契約内容変更に関する請求権、解約請求権等を有します。

◆ 装備表 (○:必要な装備、△:あると便利な装備・お持ちの方はご持参ください) ◆

用具	登山靴	○	足首まで保護できるトレッキングブーツ	その他	ヘッドランプ	○	早朝、日暮れや夜間の行動に備えて
	バックパック	○	25ℓ～30ℓ程度の物		替え電池	○	ヘッドランプ用
	レインカバー	○	バックパックのサイズに合わせた物		地図	○	1/25000 地形図 ※お送りします。
	トレッキングポール	△	膝の負担を和らげます。プロテクター(先端保護も)		コンパス	○	プレートコンパス
服装	アンダーウェア	○	化繊やウールなど吸汗速乾性のインナー・肌着・タイツ		保険証	○	万が一に備えて。コピーでも可
	シャツ・ズボン	○	化繊やウールなど吸汗速乾性のシャツやズボン		救急用具	○	絆創膏や持薬など。ファーストエイドキット
	防寒着	○	フリースジャケット、ダウンジャケット等保温性のある物		防水バック	○	衣服などを濡らさないように
	グローブ	○	防寒性のある薄手のグローブ		ビニール袋	○	ゴミ袋に
	帽子	○	日除けや頭の保護に		日焼け止め	○	お肌の保護に。リップクリームも
	レインウェア	○	防水性・透湿性のある、上下セパレートタイプ		タオル	○	汗拭きに
	サングラス	○	紫外線など目の保護に		虫よけスプレー	○	ハッカ油など
	ゲイター	○	砂の靴へ侵入を防ぎます		ポケットティッシュ	○	
	靴下	○	ウールなど保温性とクッション性の高いもの		折り畳み傘	△	
	水筒	○	1ℓ以上。ハイドレーションがおすすめ		着替え	○	下着やアンダーウェア、靴下等必要に応じて
食べる	サーモボトル	△	保温水筒。温かい飲み物を入れて		洗面用具	○	
	行動食	○	アメなど歩きながらでも食べられるもの				
	昼食	△	オニギリやパンなど調理しなくてもよいもの				

上記アンダーウェア(インナー・タイツ等)とシャツ・ズボンの組み合わせ等はご自身のスタイルに合わせ工夫ください。

☆上記装備表のご購入・お問い合わせはお近くの好日山荘または WebShop まで☆